

NI-Youth 有志がタスカーレーサを訪問しました 新しい交流を築くプロジェクトの成功を実感した旅

原リー海渡 島田早織 (いずれも NI-Youth)

8月5日から15日までNI-Youthを代表して、金井勇樹、島田早織、原リー海渡、渡邊樹の4人が、習志野市の姉妹都市アメリカアラバマ州のタスカーレーサ市に行ってきました。今回の訪問の目的は、NI-Youthの活動と貢献を通じて、タスカーレーサ市と習志野市の間の持続的な関係を築くため、新しい人脈作りと課題探しです。

以下、いくつかの印象に残った体験をポイントに分けて報告します。

■タスカーレーサ市役所訪問

タスカーレーサ国際姉妹都市協会のリサさんとタスカーレーサ市役所を訪れ、マドックス市長やその他の議員メンバーと面会しました。議会の様子を見学することもでき、市政の運びについてその迫力とプロフェッショナル性を体験することができました。今回の訪問の目的やNI-Youthの活動について話をする機会もあり、とても有意義でした。

■Scavenger Hunt

Girls Learn International(以下GLI)を訪問しました。このクラブは、後進国において女性が教育を受けるための環境改善について活動しています。ここではNI-Youthとの今後のつながりについてその可能性を話し合いました。アイデアとして、タスカーレーサ派遣生が習志野にいる間にスカベンジャーハントを行うことを提案してみました。スカベンジャーハントを、タスカーレーサ市ではGLIが主導し、習志野市ではNI-Youthが主導することになります。習志野市からの派遣生はタスカーレーサでは1日ばかりでスカベンジャーハントを行います。これこそタスカーレーサ市につい



て学び、また地元の人たちとの交流ができる絶好のチャンスだと思いました。この企画によって、NI-YouthとGLIの持続的な関係が築かれていくだろうと思います。

注：スカベンジャーハント(Scavenger Hunt)宝探しゲームとも借り物競争とも訳される、移動しながら与えられた課題を解決していくゲーム。

■Global Cafe

タスカーレーサ市にあるアラバマ大学構内にはグローバルカフェというところがあり、海外からの学生を歓迎する場所になっています。これは海外からの学生と大学をつなぎ、より良い国際関係を築くのに素晴らしい企画です。アラバマ大学の学生ハレサンディンさんは、グローバルカフェと日本の大学生とのコラボ



レーションをしてはどうかと提案してくれました。「1ヶ月に1、2度、ここの学生と日本の大学生がお互いの文化についてスカイプを通じて話しをするのはどうでしょう」と言います。こうした取り組みが、習志野市とタスカルーサ市の大学生レベルでの交流の第一歩にならないかと考えます。

■ English Language Institute

もう一つ、両市の大学生レベルでの交流を促進するよい機会となるものに出会いました。アラバマ大学内にある ELI プログラムです。ここは、海外からの学生で英語のレベルに難しさを感じている学生が勉強してスコアを上げるのを手伝ってくれる場所です。ここで英語のスコアを上げることができると、大学の普通コースに入学することができます。ELI のドクターワイズは、日本の高校生や大学生にとってはとても興味深いプログラムではないかと言っていました。



■ Kip Tyner “Great Day Tuscaloosa” Interview

キップタイナーさんがホストをしている*テレビ番組*“グレートデイトスカルーサ”に私たち4人が出演しました。タスカルーサでの体験や NI-Youth について、また自分たちの生活について、それぞれにインタビューを受けました。

■ Leadership Code Representative

Christy Beem さんの講義を受け、リーダーシップの基本的要素について学びました。

「自己認識」「自己批判」「修正」「自分の言動

の改善」についてです。この講義は、私たち一人一人に価値のある話であるだけでなく、NI-Youth にとっても大変貴重であり、メンバーとして生かしていくべき大事なことを学びました。



■ The meeting with Mr. Arizumi

アラバマ大学でモダンラングエイジが専門の有住教授に会いました。有住先生は、1997年に習志野高校(のちに佐倉高校の生徒も)の生徒を派遣したのを皮切りに数年間、NIA 元会長の山田さんともに高校生のアラバマ短期留学プログラムに携わっていました。当時は、平日は大学内の寮に宿泊し休日のみホストファミリーと過ごすというものでした。それは、高校生に2週間ホームステイは大変だという有住先生の判断によるものでした。またプログラムは、ゴルフや野球を通して交流を行うなど、テーマを決めてプログラムを行うことに重きを置いていたそうです。

■ Girl Scout Tuscaloosa Troop 150

タスカルーサのガールズスカウト「Troop 150」は以前から習志野市のガールズスカウトと交流を続けています。今回、Troop 150を中心に近隣のガールズスカウトメンバーが、伝統的なスモアやホットドッグなどのお菓子を持ち寄り、私たちをもてなしてくれました。

彼らは日本の生活に興味津々でもあり、またお互いの活動について理解を深め合うことができました。習志野市のガールズスカウトから預かったプレゼントや NI-Youth で用意したプレゼントを渡しました。どちらもとても喜んでくれました。



■ Girl Scouts Leadership Summit Sanford University

アラバマ州北部のガールズスカウト代表者が集うサマースクールのようなイベントに参加しました。

当日はミスアラバマやNASAで働いている女性をはじめ、様々な“輝ける女性”による、将来について考える内容の話聞くことができました。お昼にはスモア作りの体験コーナーもありました。イベント全体は10～18歳くらいの年齢を対象とするもので、午後は年齢ごとにクラス分けを行い、シニアクラス(16～18歳)の授業では車の購入やアラバマの女

性のリーダーシップに関する講義が行われました。また各 Troop の活動内容をそれぞれのリーダーが全体の前で報告する場も設けられていました。

私たちは冒頭で紹介を受けたため、その後何百人もの初対面の女の子に仲間のようには挨拶をされ、会話をするときは現地の学校に通っているような感覚がしてとても新鮮でした。友達もできてとても楽しかったし、よい経験になりました。

■ むすび

この訪問を通して、新しい場所を訪れ、美味しいものを食べられたことも素晴らしかったですが、何より多くの貴重な出会いがあったことが嬉しかったです。

多くの団体と話をし、色々な分野における新しいコネクションを作ることができました。今後私たち NI-Youth が新しいコネクションを築き、新しいレベルでの交流を試みることで、その絆はさらに強まるに違いないと思います。この訪問の実績が NI-Youth をさらなる活躍へと導いてくれると実感しました。また今回のプロジェクトは、イレギュラーな状況にもかかわらず、本当に多くの人々の協力を得て無事に成り立ったとあらためて思います。もう一度、このプロジェクトに関わった全ての人に深くお礼を申し上げるとともに、必ずこの経験を生かして次のプロジェクトへと繋がりたいと思います。